

Studyaid D.B.

徹底活用術

いよいよ入試本番。
そこで今回は Studyaid D.B. を
活用した、入試対策の授業を
コーディネートします。

今回使う Studyaid D.B. の特長

入試対策といえば、やはり「過去問」ではないでしょうか。そこで入試問題を収録している「中学数学 2017 データベース」を使って入試対策授業を実践していきましょう。
まずは今回使う Studyaid D.B. の特長をご案内します。

● 入試対策プリントがさらに充実した「実用 PrinT 例集」

プリント作成システムには「実用 PrinT 例集」と呼ばれるレディ・メイドのプリントを収録しています。全国の過去問に加え、新たに「直前演習」や「頻出問題」をまとめたプリントを収録しました。

● プレゼンテーションシステムを搭載！

「プリント作成システム」に加え、新たに授業で使える「プレゼンテーションシステム」を搭載しました。

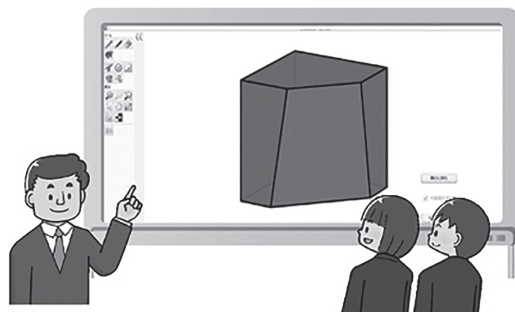


それではこれらの特長を活用して、入試対策プリントを
解説する授業を実践していきましょう！ と、その前に…

プレゼンテーションシステムって何？

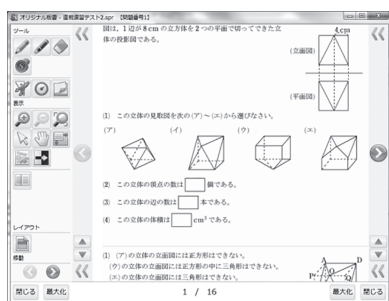
Studyaid D.B. のデジタル教科書で採用されているシステムで、電子黒板やスクリーンに、アニメーションコンテンツなどを投影しながら、ペンなどで書き込みを行って、学習内容の解説を行うことができます。

※「中学数学 2017 データベース」には教科書紙面は収録していません。



映し出すだけでも意味がある

問題文や図形などの板書時間を短縮できる分、たっぷり解説に時間が使えます。



自作の教材も大きく表示！（オリジナル板書機能）

プリント作成システムで作成された PrinT ファイルや、Word、－太郎などのファイルも、プレゼンテーションシステムで表示することができます。

特に PrinT ファイルは、一問ずつ表示したり、解説だけを表示したりと、様々な見せ方を簡単に行うことができます。



それでは始めていきます。
まずはプリント作成システムを活用します。



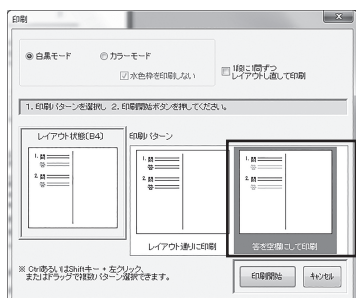
準備 1 授業で使う入試対策プリントを用意しましょう

① 「実用 PrinT 例集」から、生徒に配布したい入試対策用プリントを選びます。



▲ 選ぶだけでプリントが完成！

② 印刷します。



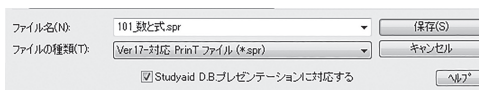
▲ 演習プリントは「答を空欄にして印刷」

③ 名前を付けて保存します（※）。



※ PrinT ファイルをプレゼンテーションシステムで開くには…

プリント作成システムで作成した PrinT ファイルには、「*.prt」と「*.spr」の2種類の形式があります。プレゼンテーションシステムでプリントを使用するには、「*.spr」形式で、また「プレゼンテーションシステムに対応する」にチェックを入れて保存する必要があります。



▲ 「名前を付けて保存」画面



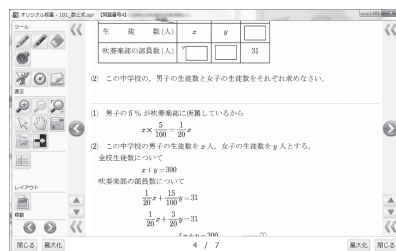
ここからはプレゼンテーションシステムを活用していきます。

準備 2 解説用にプリントを加工しましょう

① プレゼンテーションシステムの「オリジナル板書」機能でプリントを開きます。

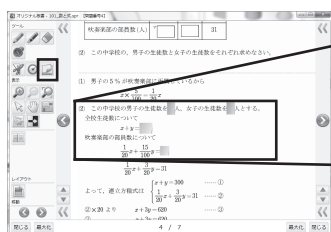


▲ 解説用は「問+解説」がオススメ



② 「ブラインド」機能で要点などを隠しておきます。

「ブラインド」機能とは、表示画面を部分的に隠す機能です。貼ったブラインドは、クリック（タップ）で簡単にめくることができます。



(2) この中学校の男子の生徒数を 人、女子の生徒数を 人とする。
全校生徒数について
$$x + y = \text{$$

吹奏楽部の部員数について
$$\frac{1}{20}x + \frac{15}{100}y = \text{$$

お好みの色・大きさのブラインドを、好きな場所に好きなだけ貼ることができます。

授業 生徒が問題を解き終わったら、プリントの解説を行いましょう

プレゼンテーションシステムに搭載されている、授業で使える機能の一部を紹介します。

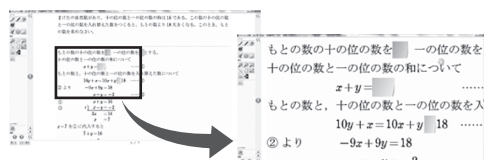
書き込み

ペンやマーカー、スタンプ機能などで、自由に書き込むことができます。



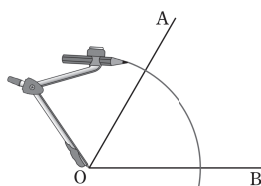
部分拡大

部分的に大きく見せることができます。



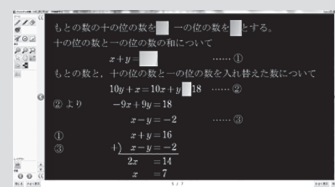
教具

作図問題で使えるコンパスなどの教具を搭載しています。



白黒反転

コンテンツなどの色を白黒反転して表示できます。
黒板に直接投影した時に文字が見やすくなります。



他にもプレゼンテーションシステムには日常学習で使えるコンテンツを多数収録しています。日々の授業にぜひご活用ください。

